



地元力財団

あなたの「ほっとけない」が見つかる これからの社会貢献 100

地元をよくするために、私たちは何をすべきなのでしょう。地元をよくするために何かしたいけど何をすれば良いのか分からないというあなたに向けて、あなたの地元、ここ和歌山の地域課題をデータを用いて見える化していきます。毎回異なるテーマ(分野)を取り上げ、地元の課題を端的に表すデータをご紹介します。

何が課題？数字でみる和歌山県

Theme18 起業その2

わかづく116号で取り上げた「起業」。和歌山県では1年に約1万人ずつ、人口が減少するという推定も出ているなか、人口の流出を防ぐためには働く場所の確保が大切。そこで、和歌山県が策定した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱のなかで、「産業の創出」を位置づけていることを紹介しました。

和歌山県内の自営業者数は人口あたりトップながら、ここ最近新規開業者数は全国下位となっています。そこで、総合戦略のなかでは県内における新規起業の機運を高めるための施策を進めていく方針です。

起業の促進は人口流入増にも寄与

起業の促進はなにも人口の流出を防ぐためだけではありません。和歌山にきたいと考えている県外の方の受け入れを図るうえでもとても重要になります。和歌山県では県外からのU・J・ターンの方々を呼びこむための施策も進めています。定年あるいは早期退職して移ってくるシニア世代はともかく、長期的な地域活性化や人口増に寄与するとみられる若い世代に和歌山県に来てもらうために、職をどう提供できるかが大きな鍵になります。

もちろん和歌山の既存の企業への就職も十分地域活性化に寄与して

きますが、和歌山の資源を活かして地域課題の解決につながる、ソーシャルビジネス(SB)・コミュニティビジネス(CB)とよばれる「地域貢献型ビジネス」を起業する動きが今後ますます活発になるものと思われま

す。政府系金融機関のなかにもSB・CBへの融資などの支援を積極的に謳っているところがあり、国としても地域貢献型ビジネスを積極的に興したいという意図をもっていることがうかがえます。

和歌山県内でも、廃校舎を活用した農業体験や宿泊等ができる施設の運営、若者や障がい者の職業訓練を兼ねた飲食店など、これまでになかった地域課題を解決するビジネスが展開されるようになってい

ます。SB・CBを含め、ここ和歌山で地域課題の解決につながる、雇用を生み出したりする事業、すなわち「ローカルビジネス」をどのよう

に進めるかが鍵になります。

ローカルビジネスを待ち受ける壁

ローカルビジネスの「種」は県内あちこちにありま

す。例えば、第一次産業が盛んな和歌山県では、農林水産物を加工した製品が各地で製造されています。地域の特産品を活かした優れた製品を生み出しているグループも少なくあ

りません。しかし、多くは農閑期の仕事おこしの意味合いが強く、繁忙期は収穫などに追われるため、通年活動できる団体は限られて

います。また、高齢化による後継者不足や活動範囲が限られるなどの影響で、安定した雇用につなげるのは難しいケースがみられま

す。

また、県内のNPOのなかには高い専門性を持ち、苦しい立場に置かれている方をなんとか支援しようとする団体が多

数あります。しかし、活動の性格上、どうしても収益性が低く

なってしまう取り組みも少なくありません。また、持続可能な事業を展開するには組織基盤が弱い団体もみられま

す。

これらのように、ローカルビジネスを育てていくためには様々な壁が立ちあ

がって

いるのです。

知恵と連携で壁を乗り越える

こうした壁を乗り越え、地域にローカルビジネスを根付かせるためには、ビジネスの担



【左】世界遺産・熊野古道を案内する外国人向けガイド養成研修。観光客の増加だけでなく、雇用の拡大も目指している。



【右】地域貢献型ビジネスをおこなう事業者による交流会。異業種連携による新たな事業が生まれることも。

で様々な種が芽を出し、大きく成長する可能性はより高ま

ります。

わかやま地元力応援基金ではローカルビジネスの「種」をどう見つけ、どう花咲かせるか、様々な機関との連携に着手して

います。

Editor's Voice

地元力財団では「地元に対する想いを寄附に託す」という新しい寄附の「カタチ」を提案しています。寄附はもちろん、明日からできる「あなたらしい」社会貢献のカタチを紙面で紹介してきました。当財団では「社会貢献支援相談窓口」を開設し、個人や団体、企業のみならず地元の想いをカタチにしていくお手伝いをしたいと考えています。

また、昨今の社会貢献意識の高まりを受け、遺産を地元のために活かしてほしいという声やニーズはますます高まっています。地元の課題が多様化するなか、それらの声に応える新しい仕組みが求められています。

公益財団法人わかやま地元力応援基金では、「遺産を地元のために提供したい、寄附したい、活用してほしい」という想いと、大切な遺産を地元の市民公益活動団体へとつなぎ、活用していくための相談を受け付けています。

■お問い合わせ先
公益財団法人わかやま地元力応援基金「これからの社会貢献 100」係

〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-428-0011 FAX 073-428-0012
E-mail info@jimotofund.jp

NPO 紙上講座 (17) NPO を取り巻く環境⑩

前回、第3のセクターが手がける地域課題解決型ビジネス、いわゆる「コミュニティビジネス(CB)」「ソーシャルビジネス(SB)」について取り上げました。

第2のセクターになる「企業」のなかには地域密着型の事業を展開して地域課題解決に貢献したり、納税などの義務を果たすことで地域そのものに貢献していたり、といった企業もたくさんあります。そもそも、多くの企業は例えば「よりよい商品を開発し、より安く、より多くの顧客に届ける」「新しい技術を追及し、生活を豊かにする」「市民の不便な点を解消し、便利にする」といったように市民生活を豊かにすることを目指して創業されています。この点で、企業も社会貢献をおこなう事業体であることは論を待ちません。

しかし最近残念ながら、社会的意義よりも儲けを優先して考える企業も増えてしまい、また、国際競争力を高めることなどを理由に、国内事業を整理したり合併を繰り返したりして身近な課題解決に手が届きづらくなっている企業、小売業を中心に熾烈な競争のなか、簡単に店・撤退してしまうサービス事業者なども増えているのも事実といえるでしょう。この意味において、企業の「社会性」が問われている、ともいえます。

第3のセクターによるCB・SBは「これまでの行政や企業の枠組みでは解決が困難だった課題」を「新たな手法で」解決することを第一義としますので、一部の企業でみられるような「儲け第一主義」などのような課題は起こりづらいと考えられます。

しかし、CB・SBとして創業して規模が大きくなり、一般の企業同様の活動を行う団体も増えるでしょうし、逆に企業が地域課題に特化し、それまでのCB・SBを手がける事業者と変わらぬ取り組みを始めるケースも増えるでしょう。

社会貢献活動を継続的に実施するために一定の収益を得て、事業をうまく回していくCB・SB。この担い手は今後ますます多種多様になるものと思われ

ます。

当面はCB・SBを展開する事業体と、一般企業との境界線をめぐって混乱を招く懸念も想定されますが、結果として、地域に貢献する主体が増えることはプラスといえますから、互いが連携しあってよりよい地域づくりにつながればいいですね。

【おわび】
前回の連載で「紙上講座(14) NPOを取り巻く環境⑦」と記載しましたが、正しくは「紙上講座(16) NPOを取り巻く環境⑩」です。お詫びして訂正いたします。

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

●SHI-EKI GLEAN GREEN PROJECT
GREEN (=緑)とGLEAN (=拾い集める)をキーワードに、緑あふれる、人と環境にやさしい街づくりを目指す社会実験。
日時 9月12日(土) 15:00~20:00、13日(日) 11:00~16:00
場所 南海和歌山市駅周辺
内容 芝生でピクニック、ブックカフェ、ポポロハスマーケット、市堀川クルーズ、市駅ビルプロジェクトマッピング等
参加費 無料(一部有料)
主催・問い合わせ 市駅まちづくり実行会議(メール shieki_ggp@yahoo.co.jp)

●第3回紀州夢祭り
20代の力で和歌山を盛り上げるイベント。子ども向けイベントも多数。
日時 9月20日(日) 10:00~17:00
場所 和歌山城西の丸広場・砂の丸広場
内容 ステージイベント、職業体験、和歌山の物産ブースなど
参加費 無料
問い合わせ 紀州夢祭り実行委員会(073-472-6007・スーパーサウン内、詳細はFacebookをhttps://www.facebook.com/wakayama.dream/)

●Kisssh-Kissssssh 映画祭 2015
加太地区各地で自主制作映画を中心に多数上映。
日時 9月20日(日)~22日(火)
場所 和歌山市加太地区周辺
参加費 会場により有料。
備考 詳細は映画祭ウェブサイト。全プログラムや会場紹介、チケット入手方法なども掲載(http://kisssh-kissssssh.com/)。

●日本高齢者大会 2015 和歌山
「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」をテーマに開催。
日時 9月15日(火) 13:00~16日(水) 13:00
場所 15日は和歌山大学、16日は和歌山県民文化会館
参加費 1日参加 2,500円、2日参加 5,000円
内容 15日:講座・分科会・シンポジウムなど、16日:全体会・記念講演「戦後70年・日本の未来へのメッセージ」(安

このほかの情報もたくさん掲載!
「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

